

がくえん やましな学園だより



かつごう
1月号

発行日 令和5年12月28日

発行者 京都市やましな学園

園長 政田美由紀

◆ 新年のご挨拶



社会福祉法人 京都障害者福祉センター
京都市やましな学園 園長 政田美由紀

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、学園の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

迎え来る令和6年度は、3年ごとの障害者総合支援法の見直しに伴い、報酬改定が行われる等、障害福祉サービスにとって節目の年となります。

そんな中、学園にとっても、設立30年が経過する中で、ご利用者やご家族の暮らしに大きな変化を迎えられる方が増えてこられて、施設の在り方を再構築する時期に来ていると実感しています。

いかなる時も、法人の理念『障害のある人とその家族が地域のなかで尊厳を保ちながら普通の暮らしができるように支援する』を実践するべく、ご利用者に生き生きと活動していただき、ご家族にも安心していただけるように、職員一丸となって、取り組む所存です。

今年も学園の活動に、応援とご協力をお願い申し上げます。



◆ カタログ販売、ありがとうございました!! (就労継続B型)

今年も年末の恒例行事として定着した法人内施設の商品のカタログ販売が実施されました。

B型事業からは真空焼き芋の販売で参加しました。

おかげさまで250本以上もの注文を頂きました。

大量のご注文にこたえるため、さつま芋のサイズの選別に始まり、芋の洗い、形を整えるカット作業といった下準備や焼きあがった芋のパック詰め、ラベル

シール貼りなどのすべての工程においてご利用者と職員で一丸となって取り組みました。



無事に焼き芋を皆さんにお届けすることができ皆で達成感を得ることができました。

今回お買い上げのお客様から次々と「おいしかった」という感想も頂いています。

やましな学園の熟成焼き芋はいつでも好評発売中ですのでご入用の際には是非ともお声掛け下さい!! (柳澤)

※裏面に続きます。

基本理念 障がいのある人とその家族が地域のなかで尊厳を保ちながら普通の暮らしができるよう支援する

◆秋のレクリエーションを再開しました!! (生活介護)

コロナが落ち着き、4年ぶりに秋のレクリエーションを実施しました。
行き先は、滋賀県のめんたいパーク。学園から近場にある青少年科学センター、京都市防災センター、南山城学園が運営する「ぷらたんカフェ」、学園の3階食堂でカラオケとドーナツを食べ楽しむ。天候にも恵まれ写真のような笑顔が沢山見られました。来年も皆さんに楽しんで頂ける行き先を探していきたいと思っております。

(小西)



◆お知らせ

- * 新年は1月4日(木)より平常通り開所いたします。
- * 京都市情報館より「発熱等の症状のある方の相談・受診・検査の流れ」です。きょうと新型コロナ医療相談センターは年末年始も受付されています。

■発熱等の症状がある方の相談・受診・検査の流れ

▶ まずは身近な医療機関に相談

発熱などの症状がある方は、まずは、身近な医療機関へ電話で御相談ください。

受診の際には、必ず事前に電話連絡のうえ、医療機関の指示に従って受診してください。

<参考> 京都府下の外来対応医療機関 https://www.pref.kyoto.jp/kentai/corona/shinryo_kensa.html [外部リンク](#)

- ・京都府では発熱症状などがある場合に受診・検査できる医療機関を「外来対応医療機関」として指定しています。ただし、かかりつけ患者以外の診療はお断りされる場合があります。
- ・掲載されている医療機関以外にも「外来対応医療機関」はありますので、まずは、かかりつけ医等の身近な医療機関に御相談ください。
- ・新型コロナウイルス感染症等の検査は医師が必要と認めた場合に実施されます。

▶ 休日・夜間など、相談できる医療機関がない場合

風邪の症状があり、休日・夜間などで相談できる医療機関がない場合は、「きょうと新型コロナ医療相談センター」に相談してください。症状に応じ対応方法を御案内します。

電話番号 075-414-5487

受付時間 土曜・日曜・祝日を含む24時間

聴覚に障害のある方をはじめ、電話での御相談が難しい方は、[メール](#)又は[ファックス](#)をご利用ください。